



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫

風薫る5月、五感すべてで感じながら活動してまいります。

3月
定例会
報告例

政策提言の実現へ

- ・日下部地域学校周辺の防犯灯のLED化(27年度実施)
- ・過疎計画に除雪機配備計画を盛り込む等の市民要望を反映



山梨市議会議員
古屋まさお

平成27年度一般会計予算について

市街地整備や道路などインフラ整備、子育て、教育等を意識した一般会計予算は前年比12.3%増大型の183億5,800万円が賛成多数で可決されました。

歳入の概要は、市税収入は38億1510万円(前年比▲0.81%)、他は交付金および、国、県からの支出金等と市債21億6千万余と依存度の高い状況にあります。

歳出の主な事業として、①ハード事業では「土木費」は歳出構成比の17.7%となっており、前年比63.9%増の32億5900万円余、「山梨市南地域整備事業」8億4102万円、「教育費」ではエアコン設置事業等で59.3%増の23億6900万円余、「市立産科医建に伴う・用地補償・造成等事業」2億3000万円余、「図書館整備事業」1億7200万円余(総事業費4億9000万円)、「防災対策事業」4345万円、「防犯対策」(防犯灯LED化更新)399万円、②ソフト事業としては「民生費」は歳出の構成比の27.7%、5億8571万円余、「子育て支援事業」2億5713万円、「疾病予防対策事業」8021万円、「英語教育推進事業」2705万円、「学校教育体制整備事業」(支援員、図書館司書の配置)3013万円、「生活相談支援事業」1246万円などとなっています。

3月2日から3月25日まで開かれた平成27年3月定例会は52議案(条例関係15件、専決関係1件、平成27年度予算関係22件、その他9件、追加提案として①工事契約では市道野背坂線改良工事が2億2千907万8800円で山梨建設・山梨技研共同企業体が契約、(入札率98.75%)、②人事案件では教育委員に幡野勝彦様(再)、公平委員に大内登美子様、監査委員に松下慶磨様、柚口山恩賜林財産管理委員に若

月進様ほか6名の選任の同意を求める件、人権擁護委員に中島紀子様(再)・小笠原博様(再)・神津幸穂様(新)の推薦、等を関係の常任委員会で審査し原案通り本会議において可決、同意、推薦しました。

なお「古屋まさお」市議は儲かる農業へのチャレンジ(ワイン特区)の提案など他5件の質問に立ち、市側の考え方、方向性を明らかにしてきました。

本紙では主な内容について報告します。

※記載内容は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現ではない部分等についてはご容赦願います。

古屋まさおの一般質問

=市民要望の実現を目指し、
前向きな見解を引き出す=

○「ワイン特区」によるまちづくりを提案

儲かる農業基盤づくりを意識しつつ、「山梨市の周遊観光」、そして6次産業もあわせた「ワイン特区」によるまちづくりにチャレンジすることを提案しました。

(市長)酒造免許の要件基準・製造数量の緩和により新規参

1面の続き

入のハードルが低くなり、市の主要農産物である葡萄を利用した6次産業化の推進、地産地消の推進、雇用の創出など地域の活性化が図られると思うので関係団体等の意見なども含め検討していきたい。

○学校周辺の街燈のLED化事業の推進について

これまでもLED化推進について提言、昨年から防犯灯のLED化事業が始まった。地元（日下部）の区長会等からも通学路等の街燈のLED推進の要請を受け、平成27年度の事業計画及び予算の考え方を質しました

（総務課長）平成27年度から、①各区の維持管理する防犯灯をLED推進に更新する際の補助金を創設する、②県にはソーラー式LED街燈の補助金も要請した、③今年度事業は「日下部地区学校周辺」を対象に75ヶ所、225万円の予算を計上、順次他地域へ計画的に取り組んでいきたい。

○過疎地（牧丘、三富地域）における除雪機の購入について

昨年の12月定例議会で提案した過疎地域の除雪機の配備の検討結果を質しました。

（市長）平成27年度中に除雪機購入計画等を組み込んだ「過疎計画」の見直しに取り組み配備計画を検討したい。なお除雪機の購入を要望する区、自治会には購入助成の検討も行っていく。

○「ふるさと納税制度変更」に伴う特典およびPRの強化について

先の12月議会でも税収確保策を提案してきたが、昨年度政府は「地方創生」を推進するため「ふるさと納税」の寄付金の控除限度額が、おおむね今の2倍に引き上げることとなることにより、自治体にとっても納税者にとっても有利な制度となることから財源確保に向け「ふるさと納税」を沢山して頂ける仕組みづくり、特にメリット感の充実として「市内のホテル等の宿泊券」、「農業体験」・「地域のお祭り参加」・「田舎暮らし」等の体験型なども取り入れた特典づくりを目指すこと。また全国に発信する「ホームページの充実」を図ることを提言しました。

（市長）平成20年度から現在までの7年間で「ふるさと納税」の寄付者は170件、2700万円余。平成27年6月から「ふるさと納税」をして頂いた方に対し感謝の気



古屋まさおの地域活動等

○各小学校給食施設を視察し意見集約を行う

平成25年に「学校給食のセンター化」構想が市側から提案されて2年、現市長は議会の考え方を参考に検討していくとしています。

議会および会派（市民の会）として

先進自治体（高崎市、今治市）、市内の6つの小学校の給食施設、甲州市の給食センターの視察を行い、2月に「学校給食施設の在り方検討委員会」として報告書を取りまとめ議長に提出しました。今後、市長がどのように判断するのか注視していきたい。



▲ 白衣で給食施設を視察

○NPOの地域活動として「桃の花まつり」に参加

4月12日（日）NPO活動の一環として山梨市駅および駅南の「かのがわ古道」の周辺地域において、「桃の花と菜の花まつり」に参加。この活動は山梨市の地域資源を活かした「まちづくり」を目指し、市内の周遊観光を通じ山梨市の良さを知ってもらおうと市民の参画型事業として毎年行っています。



▲ 桃の花まつり

持ちを込め特産品の桃、ぶどうなど果物、ワインなど加工品、マラソン大会参加券、森林セラピー体験券、花火大会招待券などを考えている。また納税者のクレジット払いの導入も検討している。市のHPもわかりやすく知らせるとともに、民間事業者のポータルサイトへも掲載していきたい。

その他、①保育園の完全給食、②牧丘・三富地域における小学校の統合に向けた準備体制等について質しました。

★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★



▼市長のチャレンジミッション・「まちづくり3本の柱」に基づく予算が決まった。市民要望を踏まえた事業推進に期待したい▼県議会議員選挙（山梨市選挙区）、高木晴雄様・奥山弘昌様、「ご当選おめでとうございます」山梨市政とのパイプ役として活躍されますことご期待申し上げます▼2期目後半に入り、市民目線にたち引き続き自己研鑽を重ね、議員としての役割、任務を踏まえ市民の負託に応えるべく努力をしてまいります。多くの市民の皆様の声をお寄せ下さい。

<http://www.e-masao.net/>